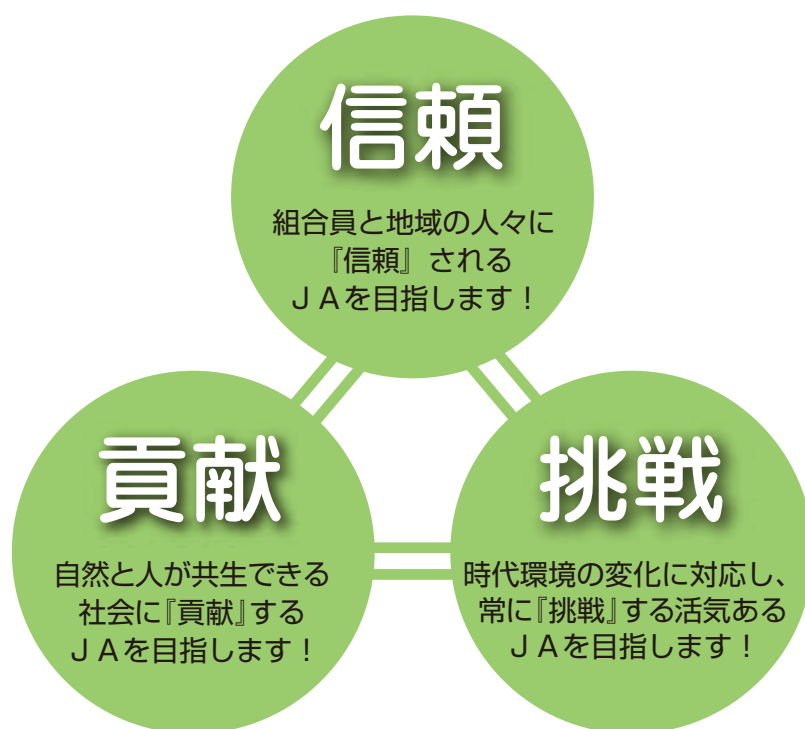


経営理念



2

経営理念・経営方針

経営方針

長期ビジョン（経営方針）

◆地域の農業者のために

地域の農業を支える農業者を応援し、元気と活力ある東美濃地域の農業を構築します。

◆地域に必要とされるために

J A の存在意義と使命を見つめ直し、東美濃地域から必要とされる J A を目指します。

◆地域で信頼される J A となるために

組織基盤の拡充、経営基盤の強化、内部管理態勢の高度化等による健全性の向上により、将来にわたって安定した総合事業機能を発揮します。

中期経営計画（令和4年度～令和6年度）

J Aグループでは、平成26年に自己改革の3つの基本目標として、「農業者の所得増大」、「農業生産の拡大」、「地域の活性化」を掲げ、自己改革に全力で取り組んでまいりました。その結果、令和3年6月18日に閣議決定された「規制改革実施計画」では、農協法附則5年後検討条項による見直し及び准組合員の事業利用規制の検討について、J Aが組合員とそれに基づく方針を組合員の判断である総代会で決定し、実践していくための自己改革実践サイクルを構築することで結論を得ました。これまでの自己改革の実績、成果について、組合員や政府からも一定の評価が得られた一方で、今後も自己改革の継続が求められました。

農業面では、少子化と高齢化が進む中で農業就業者数や耕地面積は減少しています。今後、経営資源や農業技術が継承されず、生産基盤が一層脆弱化することが危惧されています。組織面では、高齢化に伴う組合員の世代交代や組合員との関係性の希薄化など、組織基盤の弱体化が懸念されています。経営面では、日銀のマイナス金利政策の継続等により資金運用環境の好転が見込めず、総合事業再編計画の実践による収支改善が喫緊の課題となっています。

このような状況のもと、第31回岐阜県J A大会では、基本方針「対話を通じた農業・地域・J Aの未来づくり～不断の自己改革によるさらなる進化～」が決議されました。これを受け、当J Aでは、「農業者の所得増大の実現」、「組織基盤の確立と「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献」、「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」を3本柱とした中期経営計画（令和4年度～令和6年度）を策定いたしました。今回、「中期計画」ではなく「中期経営計画」とすることで、「農業者の所得増大の実現」を引き続き重要取組項目として進める中、この3年間は経営基盤を強化するための施策を重点的に実施し、今後も持続可能な組織として地域農業の振興と「食」と「農」を通じた地域の活性化に貢献してまいります。

J Aひがしみののは、地域の皆さまに「信頼され、必要とされるJ A」を目指し、全役職員が一丸となり全力で取り組んでまいります。

基本計画

1. 農業者の所得増大の実現

- (1) 担い手経営体への経営支援と次世代の担い手の育成支援
- (2) 売れる農畜産物の生産提案と販売強化
- (3) トータル生産コストの低減

2. 組織基盤の確立と「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献

- (1) 地域の食（消費者）と農（生産者）をつなぐ地産地消の促進
- (2) 食と農の仲間づくりのための組合員の拡大

3. 総合事業機能発揮のための経営基盤強化

- (1) 支店体制の再編及び営農経済事業の収支改善からなる総合事業再編計画の実践

中期経営計画の進捗状況（令和4年度 自己改革実践状況）

当組合では、中期経営計画（令和4年度～令和6年度）の初年度として、「農業者の所得増大の実現」「組織基盤の確立と「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献」「総合事業機能発揮のための経営基盤強化」の着実な実践に取り組んでまいりました。

達成状況は、計画に対する実績で判定しています。【100%以上：○、100%未満～60%以上：△、60%未満：×】

1. 農業者の所得増大の実現に取り組みます。

目標基準項目	区分	令和4年度		令和5年度	令和6年度
			達成状況		
販売品取扱高	計画	51億円	△	52億円	53億円
	実績	50.3億円		—	—

(1) 担い手経営体への経営支援と次世代の担い手育成を図ります。

目標基準項目	区分	令和4年度		令和5年度	令和6年度
			達成状況		
次世代総点検運動	計画	計画策定	△	計画策定	実践
	実績	調査書回収中		(変更前) 実践	—
農地集積による収量増加 (令和3年度対比)	計画	130 t	△	260 t	390 t
	実績	123 t		—	—
トマト新規就農者数	計画	3人	○	3人	3人
	実績	3人		—	—
和牛登録審査員資格 取得人数	計画	1人	×	1人	1人
	実績	0人		—	—
営農指導員研修会 開催回数	計画	10回	○	10回	10回
	実績	11回		—	—
農業融資 新規実行額	計画	245百万円	△	285百万円	325百万円
	実績	175百万円		—	—
農業リスク診断の 実施件数	計画	100件	○	150件	200件
	実績	102件		—	—

(2) 売れる農畜産物の生産提案と販売強化を実施します。

目標基準項目	区分	令和4年度		令和5年度	令和6年度
			達成状況		
水稻多収性品種 増加収量 (令和3年度対比)	計画	15 t	○	30 t	45 t
	実績	16 t		—	—
ひがしみのトマト インターネット販売等 取扱量	計画	5,600kg	△	5,800kg	6,000kg
	実績	4,724kg		—	—
肥育肉牛販売頭数	計画	1,620頭	○	1,650頭	1,680頭
	実績	1,631頭		—	—
産直出荷者増加数	計画	15人	○	15人	15人
	実績	17人		—	—

(3) トータル生産コストの低減に取り組みます。

目標基準項目	区分	令和4年度		令和5年度	令和6年度
			達成状況		
銘柄集約肥料 予約数量	計画	5,000袋	○	5,000袋	5,000袋
	実績	5,187袋		—	—
価格調査 実施回数	計画	4回	○	4回	4回
	実績	4回		—	—
レンタル農機 保有台数	計画	12台	○	14台	16台
	実績	12台		—	—
セルフメンテ講習会 組織数	計画	4組織	○	8組織	12組織
	実績	4組織		—	—

2. 組織基盤の確立と「食」と「農」を通じた地域活性化への貢献に取り組みます。

(1) 地域の食（消費者）と農（生産者）をつなぐ地産地消の促進に取り組みます。

目標基準項目	区分	令和4年度		令和5年度	令和6年度
			達成状況		
グリーンセンターにおける 米産直売上高	計画	145,000千円	△	149,000千円	153,500千円
	実績	138,484千円		—	—
地元農産物 新規利用店舗数	計画	10店舗	○	10店舗	10店舗
	実績	10店舗		—	—

(2) 食と農の仲間づくりのための組合員拡大に取り組みます。

目標基準項目	区分	令和4年度		令和5年度	令和6年度
			達成状況		
アグリスクールの開催	計画	4地域で開催	○	4地域で開催	4地域で開催
	実績	4地域で開催		—	—
農業応援団活動 開催回数	計画	2回	○	4回	4回
	実績	2回		—	—
組合員新規加入数	計画	800人	○	800人	800人
	実績	1,028人		—	—

3. 総合事業機能発揮のための経営基盤強化を図ります。

(1) 支店体制の再編及び営農経済事業の収支改善からなる総合事業再編計画を実践します。

目標基準項目	区分	令和4年度		令和5年度	令和6年度
			達成状況		
期末自己資本額	計画	115.5億円	○	116.8億円	118.3億円
	実績	116.4億円		—	—
支店・営業所の数	計画	支店 18支店 営業所 4営業所	○	総合支店 9支店 一般支店 8支店 営業所 4営業所	総合支店 9支店 一般支店 8支店 営業所 2営業所
	実績	支店 18支店 営業所 4営業所		—	—
職員数(定数)	計画	570人	△	539人	529人
	実績	577人		9人マイナス (変更前) 548人	5人マイナス (変更前) 534人
労働生産性向上 (令和3年度対比)	計画	257千円	○	339千円	450千円
	実績	529千円		43千円マイナス (変更前) 382千円	109千円マイナス (変更前) 559千円